

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1041	(H.24)No.	1041
-----------	------	-----------	------

事務事業名	災害時要援護者対策家具固定事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	高齢者福祉担当 生坂康治	

会計区分	事業コード	146601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	災害時要援護者対策家具固定事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	災害時要援護者対策家具固定事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
家具の固定や転倒防止に必要な金具を支給・取付けを行うことで、災害時に家具等の転倒による事故を防ぎ、高齢者の安全性の向上を図る
事業内容
高齢者世帯並びに障害者世帯の安全性向上を図るため、災害時に家具等の転倒による事故を防ぐため、名張市に住所を有する65歳以上の人のみで構成されている世帯または障害者(身体障害者手帳1級～3級、療育手帳A1・A2、精神保健福祉手帳1級の手帳を所持する者)が居住し、かつ家具固定が困難な世帯を対象に、市が指定する日時にボランティアで建設労働組合名張支部組合員の協力で原材料を家具に取り付ける。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	10月 98世帯実施 報償費(事前研修会) 15千円 消耗品費 385千円	100世帯募集 10月6日(日)実施予定 報償費(事前研修会) 15千円 消耗品費 450千円	100世帯募集 報償費(事前研修会) 15千円 消耗品費 450千円	100世帯募集 報償費(事前研修会) 15千円 消耗品費 450千円	100世帯募集 報償費(事前研修会) 15千円 消耗品費 450千円

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	400千円	465千円	465千円	465千円	465千円
内訳(千円)					
国・県支出金	187	225	225	225	225
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 213	240	240	240	240
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
概算人件費	(0千円) 607千円	607千円	607千円	607千円	607千円
+ 総事業費	(0千円) 1,007千円	1,072千円	1,072千円	1,072千円	1,072千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
順調に目標を達成できていると考えられるが、啓発活動、特に関係機関への周知に努める。	啓発に重点を置き、より良い成果を得られるよう努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	高齢者の保健福祉サービスの一躍を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
災害時の高齢者の安全性の向上を図ることは重要であるとする。現行通り建設労働組合名張支部組合員との協働で実施する。	